



米沢有為会

仙台支部だより

支部総会

中條仁前支部長

の講演

22.6.12



第6号

平成22年10月23日

発行者

(社)米沢有為会仙台支部

支部長 甲 國信

仙台市清葉区二日町6-13-402

TEL 022-215-0236

有為会の近況

支部長 甲 國信

この夏は記録的な猛暑でしたが、さ
すがにこの頃はすっかり秋の気配がた
だよい、冬の到来も近く感じられるよ
うになりました。皆様にはお変わりな
くお過ごしでしょうか。

支部だよりの前号が出てから、今号
が発行されるまでの4ヶ月の間にあつ
た有為会の支部、本部の行事は、支部
総会(6月12日)、有為会定期総会(米
沢、6月27日)、支部芋煮会(10月
9日)です。また、寮OB会関係では、
仙台興譲館寮同窓会(小野川温泉、1
0月2日・3日)がありました。これら
の行事については、本号の行事報告
をご覧下さい。

120周年記念事業の協賛金につき
ましては、支部総会の際、来賓の須貝
英雄副会長が、6月現在、会員の36%
からの応募があり、目標額の2000
万円に対しおよそ960万円が寄せら
れたが、確実に返済しなければならな
い奨学金会計からの借入金、1600
万円にもまだ届いていないことを報告
され、目標達成に向けて、特にまだ応
募されてない方に対し、協力を要請さ
れました。協賛金の申し込みは11月
末日までです。この件につきましては、

定期総会でも同様の要請がありました。
よろしくご協力のほどお願いします。

行事報告

【平成22年度米沢有為会
仙台支部総会 6月12日】

仙台支部の平成22年度通常総会が

6月12日(土)、宮城県庁近くの仙台
ビジネスホテルで開かれ、会員20名、
招待学生3名に、来賓の須貝英雄副会
長を加えた24名が出席しました。な
お、仙台支部の総会時の会員数は94
名です。

来賓の須貝副会長は挨拶の中で、公
益法人認定へむけての準備状況と12
0周年記念事業協賛金(有為会の近況
参照)について話されました。

続いて21年度の決算、新年度役員
人事、新年度予算が審議了承されまし
た。役員人事では、加川巖氏が理事に
就任、高屋晴三氏が監事を退任、代わ
って大武清夫氏が監事に就任されました。
本年度の活動は、昨年の記念事業
のような大きな事業がありませんので
仙台寮の入寮生募集の強化と会員の交
流の一層の推進を重点とすることにな
りました。

前号の支部だよりに詳しく書きまし

たが、仙台寮の入寮希望者の確保は、支部の大きな課題となっています。寮生が少ないことは、有為会にとって、「せつかくの施設が無駄に遊んでいます」となりますし、寮生にとつても、寮母さんをお願いしていることから、一人当たりの負担増につながります。支部としては、寮生活の経済的メリットはもちろんのこと、寮生活で得られるものをこれまで以上に広報して行かねばならないと思っています。

総会に続いて、整形外科の中條仁前支部長を講師とした講演会（演題は「ロコモティブシンドローム（運動器症候群、略称ロコモ）」）に入りました。「ロコモ」は、骨、関節、筋肉などの機能が衰えて生活の自立度が低下し、要介護やさらには寝たきりになる可能性の高い状態を言うことで、中條先生は、こうした状態が起きてくる原因と手軽な診断法、その予防と回復のためのトレーニングなどについて、わかりやすく解説して下さいました。多数を占める年輩の聴衆には、大変有意義なお話でした。

講演会の後はお待ちかねの懇親会に移り、ビールでのどを潤しながら、話に花を咲かせて、総会関連の一連の行事は修了しました。（甲記）

【米沢有為会第122回定期総会 6月27日】

6月27日（日）、米沢の「伝国の杜」で定期総会が開催されました。下條会長と安部市長の挨拶に続いて議事に入り、平成21年度の「事業、業務」と「決算監査」についての報告を了承、ついで22年度の「事業、業務計画案」と「収支予算案」を審議、了承しました。

22年度の事業計画は、昨年度で120周年記念事業を終えたことで、平常の計画に戻りました。一方、業務計画は、次年度に差し迫つて来た公益法人への移行認定期限に向けて、組織の見直し、事業内容の見直し、新定款作り等の認定申請の準備を一層推進すること、および奨学金制度の時代の変化に対応したり方や新しい可能性を、あらたに設置した奨学金制度検討委員会において検討すること等を重点としています。（甲記）

【興譲館高校同窓会

9月19日

9月19日グランドホクヨウ米沢で、平成22年度総会・懇親会（実行委員長S50卒 増村力氏）が行われました。仙台からは、安部金之丞さん、和田美

知子さん、結城京子さんが参加され（見逃した方はお許し下さい）、開会宣言、同窓会旗入場に始まり、次年度実行委員長S51卒 栗林雄一氏の音頭で万歳三唱行い盛会の裡に終りました。恩師紹介や、記念講演講師、柴田孝氏（S40卒、山形大学国際事業化研究センター・副センター長）の勇壮な乾杯前の御挨拶などの意義深い行事に加え、作曲者・滝沢先生が登壇され、校歌のない私たちの世代が秘かに（でもないか）誇りに思っている自治会歌を齊唱したのが心に残りました。私事ではあります、次の日ははじめて靈石神社に参拝し、米沢の旧い街をしみじみと眺めて参りました。（塙原記）

【仙台興譲館寮OB会

10月2日・3日

去る10月2日（土）、3日（日）、米沢の小野川温泉河鹿荘において、置賜在住のOBが幹事となり、23名が参加して開催されました。これまで昭和35年から41年までに入寮したOBが集まる会でしたが、昨年、東京の都市センターホテルで開かれた有為会創立120周年記念祝賀会で、仙台のOBが顔合わせを行つたことがきっかけで、今回は先輩方にも案内し、これを受けて、前仙台支部長の中條仁



在寮した時期は異なっても、角五郎丁（現角五郎一丁目）の興譲館寮で若き日を過ごした体験を共有するもの集まりです。老若（といつてもみんな高齢者の部類になりますが）入り混じつかけで、今回は先輩方にも案内し、青春の昔に返り、大いに話が弾みました。

先生（昭和24年入寮、医師）を最年長に、大関修敬興譲館寄宿舎OB会長（31年入寮、元三菱銀行）と同年代の4人（元大学教授3人、元検事1人）、合わせて6人が参加されました。

寮生活には、現代の若者が陥りやすいと言われる「孤独」とは縁のない濃い人間関係がありました。貧乏学生の時代、同じ屋根の下で一つ釜の飯を食い、飲んで語り、遊んだ想い出は、数十年の後もOBの心のなかで生き続け、OB同志を結びつけています。来年は仙台で開催の予定です。（甲記）

支部だよりは年複数回発行予定です。編集への参加や投稿（CMでもかまいません）を御願いします。

会員の交流を促進し輪を広げる、趣味の会や町のおもしろどころ探訪等の臨時行事やゴルフ・釣り・小旅行・トレッキング・史跡探訪・食べ歩き・料理・園芸・造園・写真・絵・書・俳句・同人誌・茶・華・ダンス等の、有為会・興譲館寮への理解を深めて頂く為の講演会・親睦会（興譲館・米工・東高・長井高校等の同窓会との共催も検討）などを事業委員会で企画して頂き、支部だよりの他にメール等の連絡網で広報する予定です。これからも輪を広げるツールとなるようにささやかながら努力するつもりです。

恒例の芋煮会を興譲館寮そばの広瀬川原で開催の予定でしたが、あいにくの小雨で急きよ寮内で実施しました。今年も会員・寮生・寮母に加えて寮生の保護者・寮OB、同伴者も参加OKのバリアフリースタイルで開催しました。寮生が大変美味しく調理してくれた材料一式米沢直送の芋煮と、郷土の銘酒、鯉の洗い（刺身）やおつまみを頂きながら、話が弾み、大変楽しい時間を過ごしました。

参加者（敬称略）（会員） 大武清夫、
 加川巖、甲國信、今野多助、滝口政彦、
 塚原保夫、長澤健一、小林匡洋・真理
 ご夫妻、御供政敏、宇山裕人
 ゲスト（寮生保護者）島森浩、安部
 清（S35経済卒） 舎生OB 東京
 在 安部壮一郎

小野寺寮母+寮生 総計24名
 *会費の諸掛清算後残金44,841円は、仙台支部会計に雑収入として組み入れました。誠に有り難うございました。

（御供 記）

【仙台支部 秋の懇親会（米沢式芋煮会） 10月9日】



寮生保護者の安部・島森さん



おめでた報告の小林夫妻

【SCSMミュージカル研究所

創立20周年

記念パーティー 7月24日】

*SCSMミュージカル研究所の公演予定など詳しい事は、ホームページで是非検索してみて下さい。
<http://www.scmusical.com/>

(御供記)

新入会員紹介

・米村アサさん 福島県相馬市 興譲
 館高校S28(米沢西高)卒 旧姓行
 方 和田美知子さんと同級(興譲館女子一期生)

訃報

・上野恒太郎先生(6/29逝去)
 前支部監事 仙台興譲館舎生OB

生徒300人+父兄を対象に僕のライブとトークすることになりました。中学生相手のライブは初めてですが、ご恩返しのつもりでがんばって演奏します。

死亡後1ヶ月して奥様から電話を受けて死去したのを知ったのですが、5年前から樹木葬をする事に決め、山の墓地も買って置いたとの事でした。剖検の結果は12年前の腎臓の癌の再発という事です。

本田健夫先生(奥州市水沢区)

「無沙汰していますがお変わりない事と存じます。小生も余り変わりなく過ごしています。

去る9月26日に、6月29日に死去した故上野恒太郎君(私と高校から同級で、医学部も一緒に、興譲館寮でも一緒にした)の樹木葬が一関市内の知勝院というお寺で行われ、出席してきました。その翌日は秋田大曲の矢張り医学部 第2外科も同級の、友人の葬儀に出席し、此の所不祝儀続きです。

秋の芋煮会のお誘い誠に有り難うございます。当日は用事があり、残念ながら出席できません。僅かですが、酒代をお送りします。ご盛会と、当日の好天をお祈りします。・・・

渡部市郎さん

*上野先生の奥様と電話でお話しました。結構長話をしたあとで、弔問を受けていただけるかどうかお聞きしたところ、「故人の意志ですので、お気持ちだけ有り難くいただきます」というご返事でした。医学部の同期会会員にも死亡通知を出されなかつたそうですが、それ以上は申し上げませんでした。

(2010年10月6日 甲)

四季ミュージカル脚本家の梶賀千鶴子さんと共同主宰で創立した、SCSMミュージカル研究所の20周年記念パーティーが、さる7/24(土) ホテルメトロポリタン仙台で開催され、新たな稽古場の改装移転のお手伝いをした関係で出席してきました。

仙台、古川、福島、米沢(今年米沢市初の市民ミュージカルが廣瀬さんの指導で開催された)、東京他から会場立錐の余地が無いほど多数の、芸術・音楽・自治体他の関係者が参席され、SCSの活動内容の広さ・深さ・歴史を目の当たりに感じました。

梶賀さんの指導による劇団員・研究メンバーの演技はすでに一地方劇団の域を凌駕し、東北文化の一翼を担う素晴らしい存在になつてていると感じました。

米沢からは、亀岡米沢市芸術協会会長(亀岡祐一さん(当支部会員・光ヶ丘スペルマンホスピス長)の父)、廣瀬さんのご両親始め、小生の同級生も出席され、同郷の縁を深めました。

会員からの便り

渡部順一さん

同じ大学の平吹隆一先生が、新会員になられたとのこと。ご挨拶させていただくとともに、親しくご高配を賜つております。

来月(10月)22日は母校の米沢市立第五中学校にたのまれて、母校の

■寮生留学

東北大学文学部人文社会学科3年の島貫洋平君(仙台興譲館舎生・有為会準会員)が、この9月から平成23年

6月迄の予定で、アメリカのカリフォルニア大学に留学し、仙台興譲館舍生は12名となりました。

仙台支部今後の行事予定

- ☆12月18日（土）
- 第2回支部理事会・忘年会
（会場 仙台興譲館／寮生会主催）
- ☆1月22日（土）
- 新年会（会場 仙台興譲館／寮生会主催）
- ☆2月27日（土）
- 卒寮生を送る会（館長自宅）
- ☆3月19日（土） 第一次入寮面接
- ☆3月26日（土） 第二次入寮面接

浮よのたび6

（米沢有為会生みの親 伊東忠
太氏の日記）—その6

伊東忠太ら学生6名が発起人となり
明治22年11月23日（神嘗祭）有
為会が結成されたいきさつは、有為会
誌創立100周年及び110周年特集
号（松野良寅氏記）に詳しい。今回連
載する日記は翌23年の元旦から、1
月11日欧遊館での米沢大親睦会で忠
太が同士加入要請演説をぶつた日迄の
分である。

太が同士加入要請演説をぶつた日迄の
分である。
当時忠太氏らは空橋時代と自称した

合宿状共同生活を送り切磋琢磨してい
た。
(御供記)

十日（金）飲

八時起キテ直ニ登校 課業ニトリカカル 四時帰宅ス
明日ハ米沢大親睦會ヲ生村樓ニ開ク由
ソレニ就キ有為会ヨリ福引ヲ寄附シテハ如何ト 五十嵐義成氏ヨリノ相談ニ早速承知シ
福引ノ種ヲ工夫セリ
夜ニ入りテ福引ノ品物ヲ買ヒニトテ ブラブラト出カケシガ
終ニ「イロハ」屋ニ上リ込ミテ タラフク飲食シ 家ニ帰リテ直ニ寝ニ就ク
判決二十点ナリ



八時起キテ直チニ登校 課業ニトリカカル 四時帰宅ス
明日ハ米沢大親睦會ヲ生村樓ニ開ク由

ソレニ就キ有為会ヨリ福引ヲ寄附シテハ如何ト 五十嵐義成氏ヨリノ相談ニ早速承知シ
福引ノ種ヲ工夫セリ
夜ニ入りテ福引ノ品物ヲ買ヒニトテ ブラブラト出カケシガ
終ニ「イロハ」屋ニ上リ込ミテ タラフク飲食シ 家ニ帰リテ直ニ寝ニ就ク
判決二十点ナリ



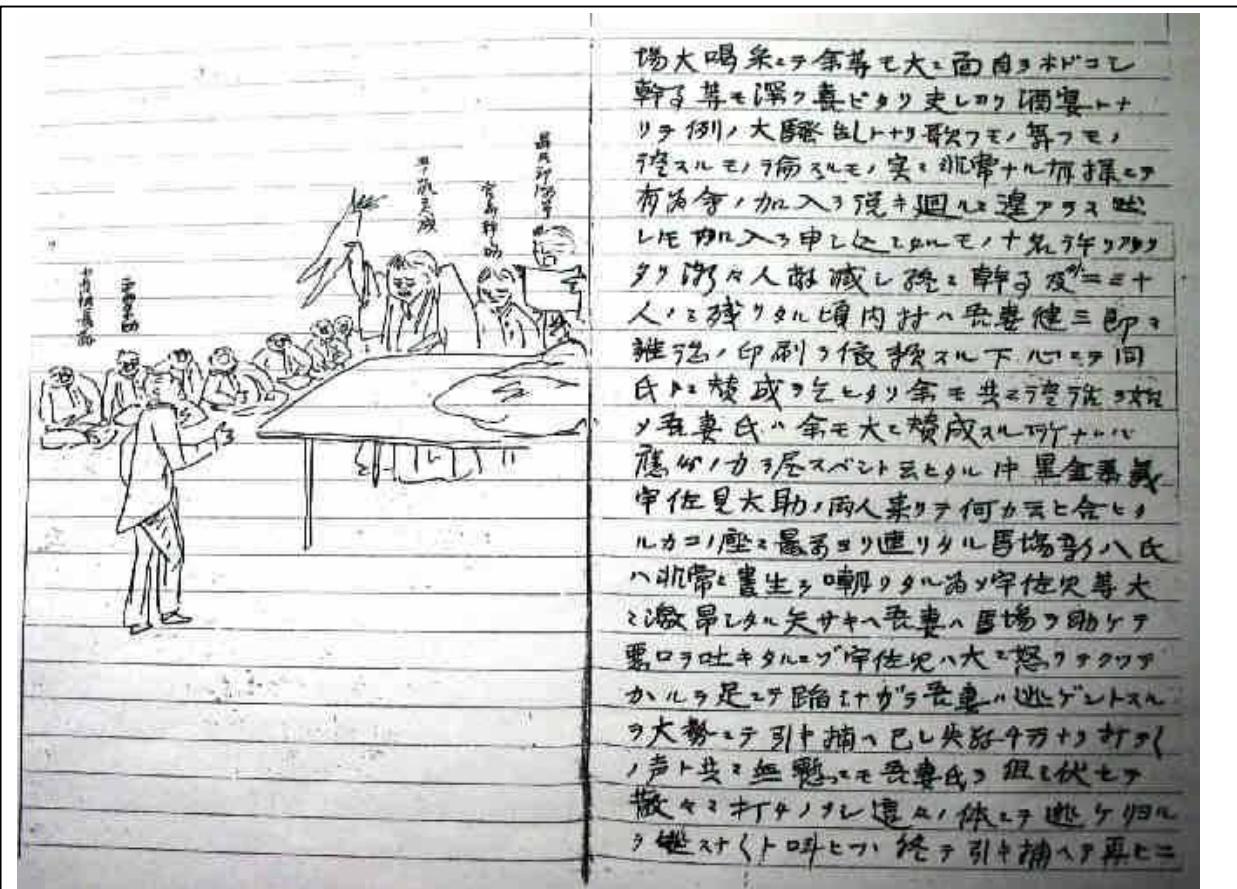
伊東忠太

十一日(土) 飲

八時起キテ直チニ登校 十一時半家ニ帰リ 昨日買ヒ残シタル品物ヲ調ヘ車ヲ飛ハシテ井生村樓ニ赴ク
来會者凡テ二百五十名 書生ト覚シキモノニハ有為會規則書ヲ一枚ヅツ渡シタリ

二時半頃 幹事 平賀享吉氏 開會主意ヲ述ベ終ハルト 兼テ雇ヒタル薩摩琵琶ノ調べアリ
児島高徳、櫻井*（訳？）、小敦盛及平田三五郎ノ曲ニテ 満場ノ人感セヌハナカリキト云ヒ度キ所ナル
カ中ニハ「ナンダツマラヌモノナリ」ナド云ヒシ馬鹿者モ居タリ

次ニ余ハ有為會ノ主意ヲ演()ベテ賛成ヲ得タキ旨ヲ公衆ニ乞ヒ聊()カ披露ノシルシトシテ福引ヲ寄
附スル旨ヲ告ケタリ 元来余ハ芹沢ニ有為會設立ノ主意及吹廳()ヲ依頼シタルカ 芹沢モ誰モカモ
発起人タル余カ演ブルノ必要ヲ説ク故 余ハ覺東ナクモ演ベタルガ 二百余名ノ前ユエ氣憶()レスペ
キカト思ヒシニハ似ズ 無人ノ境ニ望ムカ如ク イトスラスト甘ク行キタルカ 余ノ声十分ニ高カラ
ズシテ尤モ距リタル人ニハ不充分ニ聞ヘシ由 マコトニ残念ナリキ



小森澤長政 平田東助 五十嵐義成 宮島幹之助 長谷部源次郎

場大喝采ニテ余事モ大ニ面自ホドコシ
幹事等モ深ク喜ビタリ
幹事等モ深ク喜ビタリ
リヲ例ノ大騒乱トナリ歌フモノ舞フモノ談スルモノ論スルモノ実ニ非常ナル有様ニテ有為會ノ加入ヲ説キ廻ルニ遑(トマ)アラス 然レトモ加入ヲ申シ込ミタルモノ十名許リアリタリ
ク済ム人敵滅レ體:幹事及=三十
人ニ残リタル比肩内村ハ吾妻健三郎ニ
誰也、印刷ヲ依頼スル下心ニテ同
氏ト賛成ヲ乞ヒタリ余モ共ニテ是ヲ承ヌ
ノ吾妻氏ハ余モ大ニ賛成スル所ナリハ
應分ノ力ヲ屋スペシト云ヒタル中黒金泰義
宇佐見大助、兩人來リテ何カ云ヒ合ヒ
ルカニ座ニ最前ヨリ連リタル馬場新八氏ハ
ハ非常ニ書生ヲ嘲リタル為ニ宇佐見等大ニ激昂シタル矢サキヘ
吾妻ハ馬場ヲ助ケテ惡口ヲ吐キタルニゾ
大勢ニテ引キ捕へ己レ失敬千万ナリ 打テ打テノ声ト共ニ無慘ニモ吾妻氏ヲ組ミ伏セテ散々打チノメシ 這々ノ体ニテ逃ヶ帰ルヲ 逃スナ逃スナト叫ヒツツ終テ引キ捕ヘテ 再ヒ二階ノ上ニ引キ上げ 亂暴書生ナド吾妻ヲ中ニトリマキテ惡口ヲ始メ謝罪セヨト云フ

夫レヨリ福引ヲ始メタルカ 満場大喝采ニテ余ナドモ 大ニ面目ヲホドコシ 幹事等モ深ク喜ビタリ
夫レカラ酒宴トナリテ例ノ大騒乱トナリ歌フモノ舞フモノ談スルモノ論スルモノ実ニ非常ナル有様ニテ有為會ノ加入ヲ説キ廻ルニ遑(トマ)アラス 然レトモ加入ヲ申シ込ミタルモノ十名許リアリタリ

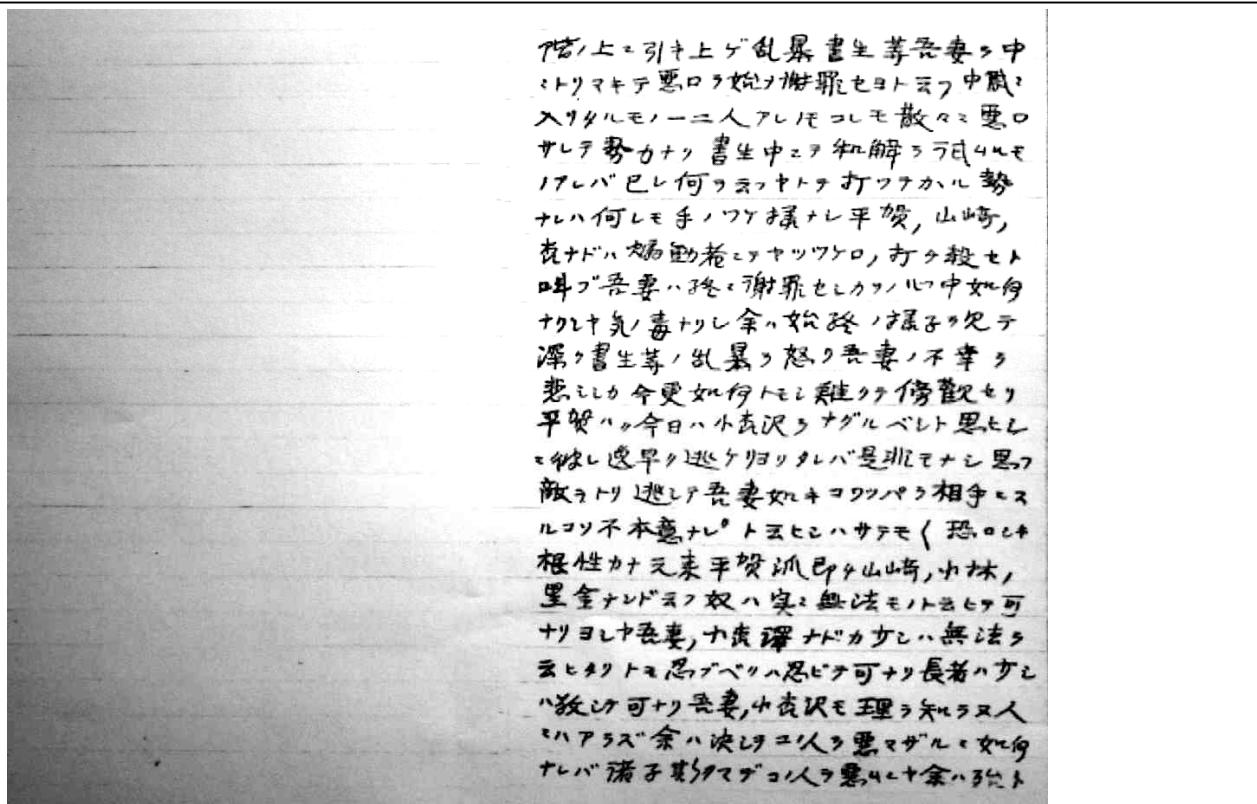
漸々(シダニ)人数減シ終ニ幹事及外二三十人ノミ残リタル頃 内村ハ 吾妻健三郎ニ雑誌ノ印刷ヲ依頼スル下心ニテ同氏ニ賛成ヲ乞ヒタリ 余モ大ニ賛成スル所ナレバ 應分ノ力ヲ尽スペシト云ヒタル中 黒金泰義 宇佐見大助ノ兩人來リテ何カ云ヒ合ヒタルカ コノ座ニ最前ヨリ連リタル馬場新八氏ハ 非常ニ書生ヲ嘲リタル為ニ宇佐見等大ニ激昂シタル矢サキヘ 吾妻ハ馬場ヲ助ケテ惡口ヲ吐キタルニゾ

宇佐見ハ大ニ怒リテクッテカカルヲ 足ニテ踏ミナガラ吾妻ハ逃ゲントスルヲ 大勢ニテ引キ捕へ己レ失敬千万ナリ 打テ打テノ声ト共ニ無慘ニモ吾妻氏ヲ組ミ伏セテ散々打チノメシ 這々ノ体ニテ逃ヶ帰ルヲ 逃スナ逃スナト叫ヒツツ終テ引キ捕ヘテ 再ヒ二階ノ上ニ引キ上げ 亂暴書生ナド吾妻ヲ中ニトリマキテ惡口ヲ始メ謝罪セヨト云フ

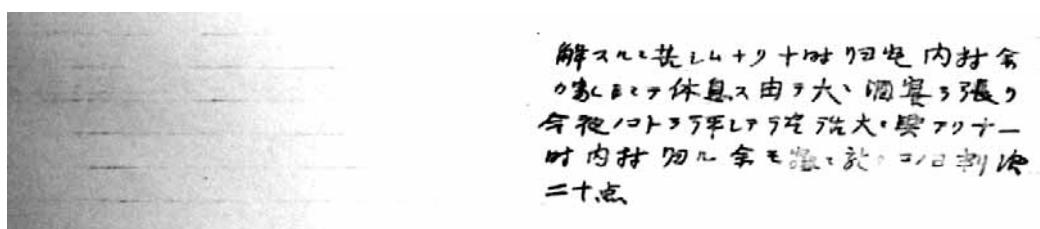
中(仲)裁ニ入りタルモノ一二人アレトモ コレモ散々惡口サレテ勢力ナク 書生中ニテ和解ヲ試ムルモノアレバ 己レ何ヲ云フヤトテ打ッテカカル勢ナレハ 何レモ手ノツケ様ナシ 平賀、山崎、森ナドハ煽動者ニテ ャツツケロ、打チ殺セト叫ブ 吾妻ハ終ニ謝罪セシ

カクノ心中如何ナリシヤ気ノ毒ナリシ 余ハ始終ノ様子ヲ見テ深ク書生等ノ乱暴ヲ怒リ吾妻ノ不幸ヲ悲シミシガ 今更如何トモシ難クテ傍観セリ

平賀ハ “今日ハ小森沢ヲナグルベシト思ヒシニ 彼逸早ク逃げ帰リタレバ是非モナシ 思フ敵ヲトリ逃シテ吾妻如キコワッパヲ相手ニスルコソ不本意ナレ” ト云ヒシハ サテモサテモ恐ロシキ根性カナ



元来 平賀派即チ山崎、小林、黒金ナンド云フ奴ハ 実ニ無法モノト云ヒテ可ナリ ヨシヤ吾妻、小森沢ナドカ少シハ無法ヲ云ヒタリトモ忍ブベクハ忍ビテ可ナリ 長者ハ少シハ教シテ可ナリ
吾妻、小森沢モ理ヲ知ラヌ人ニハアラズ 余ハ決シテコノ人ヲ惡(ニク)マザルニ 如何ナレバ諸子斯クマデコノ人ヲ惡ムニヤ 余ハ殆ト解スルニ苦シムナリ



十時帰宅 内村 余カ家ニテ(?)休息ス 由テ大々酒宴ヲ張リ 今夜ノ事ヲ評シテ談話大々興アリ
十一時内村帰ル 余モ寝ニ就ク コノ日判決二十点

編集後記

この頃、植物のレッドデータの調査などで七ヶ宿の有谷岳、秋保の二口の三ヶ倉山、山形の月山などに登っていますが、今年はブナの実が全然といっていいほど見られない。熊が人里に降りてきて襲われるケースが増えているが、ブナやナラ実の不作と関係があるようです。さらにコナラやミズナラが夏に紅葉して枯れるキクイムシによる檜枯れが山形県境を超えて宮城に入っています。自然も激しく変化しているようです。

（滝口 記）
「浮よのたび」まだまだ資料あります。
（御供）
（御供）

編集長 滝口政彦
発行世話人 御供政敏

編集子